

<b>活動名</b>	<b>団体名</b>	NPO法人おおのの風
	<b>地域</b>	広島県廿日市市
	<b>代表者</b>	理事長 坂 史朗
	<b>支援金額</b>	25 万円
<b>よみがえれ！永慶寺川のホタルたち</b>		
<b>活動概要</b>		
<p>小学生と地域の自然大好き家族と一緒に、ホタルの育成と野遊びの会をとおして、ふるさとの自然と川の環境を地域資源として大切にしていこうとする活動</p> <p><b>【活動内容】</b></p> <p>①大野東小学校の総合学習支援・ホタル学習（対象：4年生 158 名） ホタルの生態を学ぶことで、川を学び、自然環境と暮らしについても考える。そのうえで、自分たちのくらしの在り方や自然を守るための方法を考え、地域の自然とふるさとを誇りに思えるような学びの場を支援させていただく。</p> <p>②地域の子どもと保護者と野遊びの会を行う（対象：地域住民） 幼児から中学生までとその家族を対象にした自然とのふれあいの野遊びの会で自然に親しみながらふるさとの自然や川の大切さを実感し、育成する活動を行う。 ホタル育成活動は、永慶寺川の自然を守る会の会員による飼育を行った。</p> <p><b>【特徴】</b></p> <p>協賛団体として広島工業大学の福田ゼミ生がリーダーになって自然素材を使った遊びを考案し、「野遊びの会」で実際に主体的に指導した。また、川の生き物調査では自然観察指導員や環境サポーターが子どもたちの指導に当たりました。</p> <p>◆実施時期 平成25年(2013)4月1日～平成26年(2014)3月31日 廿日市市大野地域・永慶寺川及び大野東小学校</p> <p>◆参加人数 1 ホタル教室 延べ NPO 68+先生 44+生徒 1,272=1,384 名 2 野遊びの会 延べ こども 55+54=109 名 3 AKGいいとも隊 延べ 14 名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員：延べ 1,507 名</p>		



野遊びの会(そーめん流し)



野遊びの会(自然アート)



ホタルの学習(川の生き物調査)



ホタル学習(川の様子しらべとゴミ拾い)

#### ◆実施に伴う効果

- ①ふるさとの川や自然環境を考える子どもたちが増えた
- ②ホタルの生態について実体験を通して学ぶことができた
- ③参加された保護者も野遊びや川における安全な遊びから、子どもの発達段階における体験活動が重要ですねと感想をいただきました
- ④AKGいいとも隊のボランティア活動に多くの励みをいただきました
- ⑤地域における川の清掃活動が活発に行われるようになった
- ⑥地域の川にホタルが少しずつ戻ってきているように感じました
- ⑦ミニ・ビオトープで自然環境の中でホタルの循環ができるようになりました
- ⑧ホタルの里づくりに前向きに取り組むことができました
- ⑨ごみを捨てないことを子どもから保護者へひろがった

#### ◆苦労した点

- ①予算は、助成金額を考慮して、効率的に使用しました
- ②学校との連携および学習の内容など順調に協議できましたが、学校行事の都合で臨機応変な変更が要求され、NPO単独の場合でもメンバーの調整に苦労しました。とくに講師のスケジュールが合わず、また、生き物調査では調査の最適期間を逃すことになり、子ども学習優先に取り組みたかった
- ③野遊びの会では、保護者の理解がとともよく、本当に協力的でした
- ④来年以降では、野遊びの体験活動を保護者から、通年の運営を要求されました(保護者の協力があれば可能性は高い)
- ⑤地域の人からホタル学習について、無理解な言動があり苦慮しました
- ⑥地域代表の方に説明すること、学校の責任者と協議することで対応しました
- ⑦地域で、ふるさとの環境とともに子どもたちの健全育成に取り組んでいるというプライドをもっとPRしなければと考えています

#### ◆今後の課題・発展の方向性

- ①来年も、小学校からはホタル学習をとおして、ふるさとの自然環境や川のはたらきについて学ぶ総合学習の支援を依頼されました。
- ②野遊びの会では、保護者の協力を取組んでゆけるように考えたいので、最終回にアンケート調査を行い、具体的な要望とともに将来性を考えるきっかけにしました。
- ③地域の団体(町内会など)との連携を考えてゆかねばと思っています
- ④ビオトープを造る用地の無償提供を待望していますが引き続きメッセージを出してゆきたい
- ⑤将来的には、子ども原体験や自然遊びをしながら、放課後や土日の子ども広場のような居場所づくりに発展させたい

#### ◆活動を終えての感想・意見等

- ①通学路で出会う子どもたちから親しく声をかけられて本当に良かったと思っています
- ②小学校では、4年生から3年生に引き継ぎのような形で、グループ発表が行われ、次年度の子どもたちがホタル学習について好奇心と興味を持つように仕向けていることがとても良いので、これからも続けていってほしい(学校に要望している)
- ③地域で、クレームもありますが、ホタル学習やホタルの里づくりに少しずつ認識が広がりつつある
- ④AKGいいとも隊のボランティア活動に認識および理解が拡大しているように感じています
- ⑤ボランティアの参加をもっと、呼び掛けたい